

【鳥取県の全体目標】 がんによる死亡者の減少 75歳未満がん年齢調整死亡率(人口10万対)を70.0未満とする  
(令和5年度まで) (男女別の目標値 男性：90.0未満 女性：50.0未満)  
 【中期目標】 がんと診断された時から患者と家族が抱える様々な苦痛に対する適切な緩和ケアを提供できる体制を整備する  
(令和3年度～令和5年度)

前年度の目標	①各施設で、緩和ケアを専門としない医療従事者への基本的緩和ケアに関する教育を行う②緩和ケアを専門としない医療従事者と緩和ケア専門家の連携を強化する③各施設で緩和ケアに対する課題を明確化し、課題解決を図る	
	前年度Plan	前年度Act
<b>①医療従事者への基本的緩和ケアに関する教育</b> (医師向けの緩和ケア研修"PEACE"開催、看護師向けの研修"ELNEC-J"開催、看護師に対するコース研修開催、緩和ケアに関する委員会における研修・勉強会開催、病棟における勉強会開催etc) <b>②医療従事者と緩和ケア専門家の連携強化</b> (職員に向けて緩和ケアに関するマニュアルの周知、緩和ケアチームへの依頼方法の周知徹底、緩和ケア専門家との連携方法の再考、リンクナースの機能強化と連携強化、地域医療機関との連携強化etc) <b>③各施設の課題の明確化と課題解決</b>		①各種研修会を企画・開催することができたが、受講者は新人や研修医が多い傾向あり。PEACE研修をはじめとして院外および多職種の参加は少ない傾向にある。基本的緩和ケアの教育は継続していく必要があるが、同時にチーム医療の推進として多職種が研修参加できるように配慮していく必要がある。 ②緩和ケアに関するマニュアルは整備されているが、改訂が滞っている施設も多い。また、依頼方法が定型化している/定型化した施設においても周知が不十分という課題が残った。引き続き緩和ケア専門家との連携整備と広報が必要である。 ③緩和ケア専門家の人材不足や育成、他施設連携を課題に挙げて取り組んだが、1年で成果は出ていない。継続した活動が必要である。

今年度の目標	①院内外・多職種を対象にした医療従事者の基本的緩和ケアに関する教育を行う。 ②緩和ケアを専門としない医療従事者と緩和ケア専門家との連携を強化する。 ③各施設で緩和ケアに対する課題を明確化し、課題解決を図る。		
	Plan(計画)	Do(実施)	Check (点検・評価)
	<b>①医療従事者への基本的緩和ケアに関する教育</b> ・緩和ケア研修の多職種参加推進(PEACE研修含む) ・看護師向けの研修"ELNEC-J"開催 ・ <b>地域医療機関向けの研修開催</b>  <b>②医療従事者と緩和ケア専門家の連携強化</b> ・緩和ケアに関するマニュアル改訂・周知 ・緩和ケアチームへの依頼方法の周知徹底 ・緩和ケア専門家との連携方法の再考 ・リンクナースの機能強化と連携強化 ・ <b>多職種カンファレンス開催</b> ・地域医療機関との連携強化  <b>③各施設の課題の明確化と課題解決</b>		